

コクリカ坂



秋田県立能代松陽高等学校
国際理解通信 No.2
2024.6.21 June Issue
6月号

『コクリカ坂』は国際理解の促進のために国際教育部が発行する通信です。

【第1回 国際理解講座 1年生】

令和6年5月30日（木）5，6校時に、メディアホールにて、北川裕子氏を講師にお迎えして、1年生を対象に第1回国際理解講座が行われました。

北川先生は「のしろ日本語学習会代表」として30年以上能代市で外国人に日本語を教えてきた方で、NHKで取り上げられたり、文化庁長官賞を受賞したりと、精力的に活動されており、本校の前身にあたる能代北高校の卒業生でもあります。

これまで北川先生との関わりにより、国際系や語学系の大学進学などの進路を決めた生徒も数多くいます。

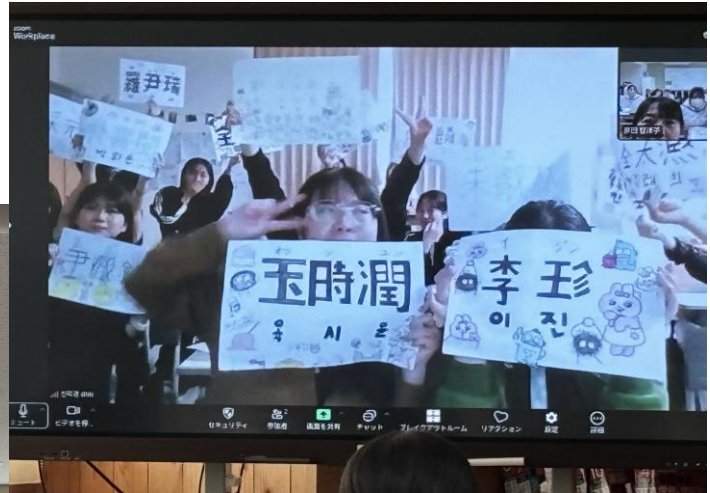


生徒の感想より

- ・日本には多くの外国人が来ていて、今後も更に増え続けていくということが分かった。生活する上で言葉を覚えていくと同時に、文化や習慣も学ぶ必要があるということが一番印象に残っている。文化を知って意味を知った上で言葉を使う事が出来るため、言葉と文化はつながっているということに改めて気付かされた。
- ・日本だけでなく、秋田県や能代市にも特定技能人として多くの外国人が来ることになると思うことができた。たくさんの外国人が来ても、受け入れる体制や環境が整っていなければ労働者などの役割を果たすことができないと知って日本語教室をなくさないような取り組みも今後大切になると考えた。
- ・「日本人だからといって日本語を教えられるわけではない」という言葉が印象に残りました。助詞一つで話していることの意味が変わったりするということに納得しました。
- ・外国人は日本語が分からないからこそ「どうして？」と思ったことをきちんと説明できるようになることが大切だと分かった。また、生活ができるようになるために日本語を教えるだけでなく「日本に来て良かった」と思えるように日本語教室の先生を続けているという先生の姿に感動した。
- ・「国際交流ではなく人間交流」という言葉を聞いて、これまで、言葉が違うだけで「自分とは違う人」と思っていた考えが、みんな一緒なんだなと思えるように変わりました。
- ・今後自分が生きていく中で外国の方との交流を少しでも多くしていきたいと思います。また、自分にできる支援や積極的な行動を増やしていきたいと考えました。高校生にしか出来ないことがあると思うので、積極的に行きたいです。

【ソウル市^{ソウル市}培花女子高校との韓国語オンライン交流】

5月29日には、3年生の韓国語選択の生徒が、韓国語の授業の中でソウル市の培花女子高校の生徒とオンラインでつながり交流しました。本校の生徒がまず先に、1人1人カメラの前に立ち、韓国語で自己紹介をして、それに続いて培花女子高校の生徒の皆さんが日本語で自己紹介しました。



7月には2年生の韓国語選択者が別の学校（石正女子高校^{ソクチョン}）とオンライン交流を行う予定です。

【短期留学生在が来校しています】



6月21日(金)から7月31日(水)までの6週間、アメリカから2人の留学生在が来ています。日本語や日本の文化を学びに来ていますので、英語でなくても、むしろ日本語で、積極的に話しかけて交流しましょう。短い期間ですが、能代松陽高校で日本の思い出をたくさん作ってくれたら嬉しいです。皆さんよろしくお願いいたします！

オードリー・モリター さん (3A)

アメリカ イリノイ州 オークパークアンドリバーフォレスト高校

趣味: トロンボーン ギター 水泳 ダンス ウクライナ舞踊 ダンス鑑賞 ホッケー観戦

クララ・シュレヒト さん (2A)

アメリカ ワシントン州 シダーパーク クリスチャン高校

趣味: ピアノ ボクシング 柔術 美術 料理 お菓子作り アニメ